



令和5年度 浜松市立北浜北小学校 学校だより

# 北心だより

令和5年7月21日 NO.4



合言葉「チャレンジ」

学校教育目標

心豊かでたくましく 夢に向かって  
輝き続ける北北っ子

71日間の1学期が終わりました。保護者の皆様の御支援のおかげで、子供たちの元気に頑張る姿やたくさん笑顔を見ることができました。感謝申し上げます。

今日の終業式では、校長が次のような話をしました。

1学期を振り返って素晴らしい発表をしてくれたお友達、ありがとうございました。私からも、1学期の皆さんの様子を振り返ってみたいと思います。

始業式で、皆さんに「挨拶」と「チャレンジ」を頑張ろうというお話をしました。挨拶については、たくさんの子が門のところに立って挨拶を呼び掛けました。相手の目を見て挨拶ができる子も増えてきました。廊下や教室でも、私の「こんにちは」に答えてくれる子がたくさんいて、うれしかったです。「チャレンジ」については、それぞれの学年で頑張った事やできるようになったことがたくさんありました。

1年生は、とっもしっかりしてきましたね。時間を守って生活したり、給食の準備をしたりと、いろんなことができるようになりました。プールの顔付けや国語の言葉集めなど、自分からチャレンジする子もたくさんいました。毎朝、アサガオに水を掛けて大切に育てることもできましたね。

2年生は、元気な挨拶や音楽の楽しそうな歌声が校長室まで響いてきました。学校探検では、1年生に教室を案内して、学校の様子を優しく教えていました。お兄さん、お姉さんになり、とっもしっかりしてきた1学期でした。おいしい野菜も育てることができました。

3年生は、新しく始まった勉強、社会や理科、外国語活動を頑張りました。書写の毛筆や音楽のリコーダーにも挑戦しました。漢字テストも難しくなりましたが、練習して〇の数を増やしました。美園学習では、校外に出て、友達と協力しながら、昔のものを意欲的に調べましたね。

4年生は縦割り清掃の上級生になり、2年生に掃除のやり方を優しく教えることができました。美園学習では、福祉について講師の方に教わったり、質問したりしながら意欲的に調べました。図工でものこぎりを使って夢中になって作品を作り、勉強を頑張る姿がたくさん見られました。

5年生は、運動会で6年生のサポートをしたり、委員会活動に張り切って取り組んだりしました。学年集会や学級・学年をよりよくするための会社活動にも積極的に取り組み、高学年としての自覚やみんなのために働く意欲が高まってきました。水泳では長い時間泳ぐ練習を頑張りました。

6年生は、特に1年生のお手伝い、朝の支度や給食、掃除などを頑張りました。楽しそうにお手伝いをするので、1年生を笑顔にしてくれました。入学式や1年生を迎える会、運動会での活躍、さすがです。リーダーとしてのプライドをもって頑張る子が増えてきて、頼もしいです。

なかよし学級は、昼休み、友達に積極的に声を掛けて遊んだり、困っている友達を見つけると進んで助けたりすることができました。何か友達と揉め事があっても、自分たちで解決しようと頑張りました。友達のことを考えて行動できる子が増えた1学期でした。

他にも頑張ったことやできるようになったことがたくさんあったと思います。逆に「これは残念だった!」「もうちょっと頑張れたかな?」ということもあるかと思います。一人ひとり、この1学期の自分をじっくり振り返り、夏休みや2学期に頑張りたいことを考えてみてください。

さあ、いよいよ明日から夏休みです。40日間、けがや病気、交通事故や不審者に気を付けて、家族の皆さんとゆっくり過ごしてください。8月31日の始業式、みんなで元気に2学期のスタートを切れるのを楽しみにしています。



## ☆☆ 子育てで大切にしたいこと ☆☆

明日から夏休みに入ります。学校に通っている時よりも、子どもと向き合うことができる時間が多くとれるのではないのでしょうか。子どもたちが、「心のエネルギー」を充電し、2学期から、さらに学校生活を楽しめるといいと思います。

今回は、私が読んだ本の中から、「親として成長しないといけない」と思えた内容を抜粋してお伝えします。

### 困難に打ち勝てる子

「恐れ」があっても、それを打ち消す力をもっていれば乗り越えられます。その力とは、ずばり、「愛」です。子どもの心の中に愛がどれくらい貯えられているかが大切です。「愛」という言葉がピンとこなければ、元気、心のエネルギーと言い換えることもできます。

＜親自身が人生を楽しんでいますか＞

子どもは、親や家族から愛されることで、自分自身に価値があること、自分の素晴らしさを学びます。そして、親や家族の生き方を見て、自分の将来に希望をもちます。だからこそあなた(親)は、どんなときも子どもを励まし、勇気づけなければなりません。そしてあなた自身が人生を楽しむ姿を見せなければならぬのです。

### 親の言葉の大切さ

子どもは、あなた(親)を愛しています。世界中の誰よりもあなたを愛しています。だから、お子さんにとって、あなたの言葉は絶対なのです。たとえ表面上はどんなに反抗していても、口答えしても、無視していても、親であるあなたの言葉は絶対です。あなたがお子さんに向ける言葉は、お子さんの未来への予言なのです。

### お子さんを理解するには…

お子さんに理解されたい気持ちと、お子さんを理解したい気持ち。あなたにはどちらの気持ちが強いのですか。ひよっとすると、「理解されたい」という気持ちの方が強くないですか。

でも、理解してもらうには、「理解されたい」という想いを抑え、相手を理解することから始めなければなりません。自分の気持ちを抑え、相手の話を聞くのは、とても根気がいります。しかし、その努力によってあなたは相手から信頼され、理解してもらえるようになるのです。

### 子どもの良いところに気づく6つの質問

- ① お子さんの得意なことはなんですか。
- ② お子さんの好きなことは何ですか。
- ③ お子さんの素晴らしい部分は何かですか。
- ④ お子さんの優しいところはどんなところですか。
- ⑤ お子さんのかわいいところはどんなところですか。
- ⑥ お子さんの強いところはどんなところですか。



お子さんにとって、親というのは、唯一無二の大切な存在です。今一度、「親の背中を見て育つ」「親の言葉を聞いて心を育む」ことを念頭におき、お子さんが、自分の可能性を信じ、よりよい未来を切り拓いていけるように、最大の理解者として、関わっていきたいですね。

生徒指導担当